

研究課題名	悪性胆道狭窄に使用する金属ステントの有用性および合併症に関する研究
試料・情報の利用目的・ 利用方法（他機関へ提 供する場合その方法）	膵癌や胆管癌などによって胆道が狭くなることがあり、狭くなった場所に金属ステントという金属の網でできた筒状のものを留置して、内腔を広げる器具を入れる治療が推奨されています。しかし、どのようなステントを用いるかは施設や施行医の判断に委ねられています。当院では 2024 年秋に新しく販売された内部のプラスチックカバーが特徴的な構造をしている金属ステントを導入しましたので、その有用性と合併症について検討を行いました。
研究対象者	2021 年 4 月 1 日より 2025 年 3 月 31 日までに胆管に金属ステントを留置された方
利用又は提供する試 料・情報の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：生年月、性別、PS（performance status）※、検査日、疾患名、ステントを留置していた日数、血液検査、CT、MRI、内視鏡画像 （※PS：全身状態の指標であり、患者さんの日常生活の制限の程度を示します）
研究予定期間	機関の長の実施許可日 ～ 2029 年 12 月
試料・情報の取得方法	通常診療の過程で得られます
試料・情報を利用する者 の範囲	この研究はベルランド総合病院 消化器内科のみで行います
試料・情報の管理について 責任を有する者の氏名又 は機関の名称	ベルランド総合病院 消化器内科 氏名：安 辰一
研究に協力したくない場合	研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先までお申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはございません。
利益相反について	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	ベルランド総合病院 消化器内科 氏名：安 辰一 メールアドレス：t_an@seichokai.or.jp 〒599-8247 堺市中区東山 500-3 Tel：072-234-2001（代）